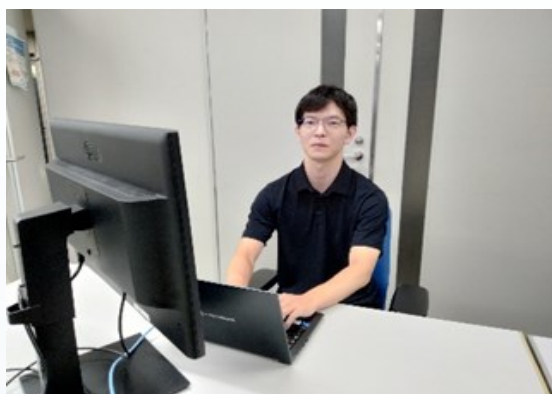


～実際に働いて感じたこと 先輩職員の声～



経験を活かし、新たな挑戦ができる職場

総務部人事第一課 主任

【令和6年度選考採用】

○自らの経験を活かす挑戦

以前からニュース番組等で空港の税関業務の特集を見る機会や海外旅行に行った際に検査官が手荷物検査をする姿を見て、税関の仕事に興味を持っていました。また、語学に多少覚えがあったため、仕事で語学を活かせる機会があるなら挑戦したいと考え、選考採用試験に応募しました。

○今できることを積極的に

入関後、最初に配属された羽田税関支署の旅具通関部門に約1年間、所属していました。よくニュース番組等で取り上げられることの多い空港旅具通関ですが、実際に業務を行うと、業務内容や根拠法令を覚えることは勿論、日々刻々と変化する国内・国際情勢に注視することの重要性を身をもって体感しました。どんな職業でも共通することですが、水際取締の業務だからこそ、常に勉強し、新しいものを吸収していく姿勢が大切だと感じました。

旅具通関部門は職員に比較的若い年齢層が多く、和気あいあいとした雰囲気があります。一方、業務となると皆、集中力を絶やさずに、旅客の荷物検査や納税対応をテキパキと行っており、とてもメリハリのある職場でした。

前職の市役所職員では人事や給与担当をしていましたので、現在所属している人事第一課の業務には馴染みがあり、自分の経験を活かす場面があります。また、今の業務を通じて、税関職員が担当する業務範囲の幅広さには改めて驚きました。

自らの経験・知識を活かすことも有意義なことですが、せっかく税関という組織の一員となったからには、税関でしかできないことに積極的にチャレンジしていきたいと考えています。



仕事と私生活を両立し 安心して働ける職場

業務部統括審査官
(通関総括第6部門担当)付審査官

【令和2年度選考採用】

○前職の経験を活かす

税関に入関する前は、航空会社、海上保安庁で勤務しておりました。前職、前々職のいずれも税関職員の方と接する機会があり、税関の仕事に興味を持っていた中、採用募集を見て、今までの仕事の経験を活かしながらも新しいことに挑戦できると思い、志望いたしました。

採用後は、成田空港の旅具通関部門にて、日本に入国する旅客や乗組員の手荷物等の通関手続きを行っておりました。配属時は、コロナ禍やオリンピック・パラリンピックなどの特別な対応が必要な状況下でしたが、様々な部署の職員が連携して業務にあたっており、若手職員も主体的に業務に取り組んでいる姿が印象的でした。

その後、育児休業を3年取得し、現在の職場である本関の通関総括第6部門へ職場復帰いたしました。主に事後調査部門が調査した輸入申告の修正申告業務を行っており、旅具通関部門以外の業務は初めてであることから、覚えることが多く苦労もありますが、経験豊富な先輩方がいるため、分からないことや困ったことがあった際は、遠慮なく質問できる環境があります。

また、現在、保育園に通っている子どもがいますが、勤務時間を短くする制度を利用し、通常の預け時間内に子どもを迎えに行くことができます。税関は、休憩時間の短縮やテレワークなど、仕事と私生活を両立しやすい制度が整っており、子育てをしながらでも安心して働ける職場環境であると感じています。

○職員として学ぶ姿勢を忘れずに

現在の部署で通関の知識をより深めていくとともに、事後調査など現在の業務でやり取りをしている別の部署の業務に携わってみたいと思います。また、他国の税関職員と交流することができる関税技術協力など、新しいことにも挑戦していきたいです。

さらに、税関では様々な研修を受けることができるので、今後も学ぶ姿勢を忘れずに、税関職員として成長していきたいと思っています。



成長とやりがいを実感できる職場

羽田税関支署統括監視官
(旅具通関部門担当)付監視官

【令和6年度選考採用】

○変化の最前線での仕事に大きな魅力

私はこれまで金融機関が法令を遵守し、適切に業務を行っているか確認する業務に従事してきました。その中で、事実を正確に確認・分析する力や法令遵守の重要性を学ぶとともに、責任感や判断力を培ってきました。

一方で、業務経験を重ねる中で、これまで培った経験を活かしながら、より変化に富んだ環境で社会に直接貢献できる仕事に挑戦したいと考えようになりました。近年、グローバル化の進展や電子商取引の拡大により、税関を取り巻く環境は大きく変化しています。それに伴い税関業務も日々進化しており、こうした変化の最前線で新たな知識や専門性を身に付けながら成長できる点に大きな魅力を感じました。

○初心に返って可能性を広げる

税関には厳しいイメージがあるかもしれませんが、私自身も入関前は、なじみのない世界で、常に緊張感のある職場という印象がありました。しかし実際には、職員同士が協力し合い、相談しやすい風通しの良い職場です。業務には高い責任感が求められますが、周囲のサポートがあり、安心して仕事に取り組むことができます。未経験からのスタートでしたが、新しい知識や考え方に触れる機会が多く、視野の広がりを実感しています。また、旅具通関部門では、海外から到着した旅行者の手荷物検査などを担当しており、多くの旅行者と接する中で、英語やジェスチャーを使ってコミュニケーションを取る機会があり、世界とのつながりを身近に感じながら働けることも税関ならではの魅力です。社会人経験者であっても、新たなスキルを身に付けながら成長とやりがいを実感できる職場です。

私は社会人経験者として入関しましたが、新たな分野に挑戦する中で、これまでの経験や考え方にとらわれず、初心に返って自身の目標や将来像を見つめ直しています。税関には多様な業務があるため、まずは目の前の業務に真摯に取り組み、自分の可能性を広げたいと考えています。今後は、急速に変化する税関を取り巻く環境の中で経験や知見を積み重ね、安全・安心な社会の実現と貿易の円滑化に貢献できる職員を目指しています。